

平成19年7月  
農林水産省生産局

## 豚の改良体制に関するアンケート調査結果

回答都道府県数(調査時期)  
46都道府県(平成19年6月)

現在の都道府県の公的機関における改良体制

### 1 業務内容(複数回答可)

	(回答件数)	(割合)
系統造成(又は維持)	26	62%
開放型の種豚改良(遺伝的能力評価に参加)	12	29%
開放型の種豚改良(遺伝的能力評価に不参加)	9	21%
技術開発 (凍結精液、凍結胚移植、体細胞クローン、飼養技術など)	17	40%
遺伝子解析	11	26%
肉質分析等の検査(委託も含む)	20	48%
その他 (精液配布など)	16	38%
回答都道府県数	42	

### 2 系統造成・維持機関の配布状況等

#### (1) 他県の公共機関への配布

	(回答件数)	(割合)
既に配布	10	37%
配布可能だが要望がない	7	26%
困難	4	15%
その他	6	22%
回答総数	27	100%

#### (2) 民間の種豚場への配布

	(回答件数)	(割合)
自県内の種豚場のみ配布	19	73%
他県の種豚場にも配布	1	4%
自県内の種豚場には配布可能だが、要望がない	0	0%
他県の種豚場にも配布可能だが、要望がない	3	12%
困難	0	0%
その他(民間種豚場がない、検討中等)	3	12%
回答総数	26	100%

#### (3) 系統造成に関する今後の意向

	(回答件数)	(割合)
新たに系統造成を開始予定(19年度以降)	4	15%
系統維持を中止予定(19年度以降)	3	11%
新たに系統造成を開始する予定はない	17	63%
その他(検討中等)	3	11%

回答総数 27 100%

(4) 現在、系統造成(又は維持)を行っていない県の今後の意向

	(回答件数)	(割合)
系統造成を開始予定	0	0%
系統維持を開始予定	0	0%
系統の増殖群を繋養予定	0	0%
系統造成・維持の予定はない	19	100%
回答総数	19	100%

3 遺伝的能力評価

	(回答件数)	(割合)	【18年度】
既にデータを提供	23	52%	16
現段階では提供していないが可能 (提供してない理由 データをとりまとめ中等)	11	25%	16
困難 (困難な理由 産肉検定を実施していない等)	10	23%	11
回答総数	44	100%	43

4 精液の保存・利用状況

(1) 種豚の液状精液の配布

	(回答件数)	(割合)
配布している	25	60%
自県内へ配布可能だが、要望がない	1	2%
自県及び他県へ配布可能だが、要望がない	2	5%
困難 (困難な理由 供給体制が未整備等)	14	33%
回答総数	42	100%

(2) 凍結精液の保存

	(回答件数)	(割合)
保存している	20	44%
a. すべて供給可能	1	2%
b. 一部可能、又は条件次第で可能 (具体的な内容 公的機関であれば可能、個体により可能等)	8	18%
c. 困難	12	27%
保存していない	25	56%
回答総数	45	100%

5 複数県の広域連携による改良体制の推進

	(回答件数)	(割合)
既に連携の取組みを実施(検討中なども含む)	4	9%
取り組みたいが相手がみつからない	8	18%
実施が困難(困難な理由 防疫上の問題など)	29	64%
その他(未定、検討中)	4	9%
回答総数	45	100%

## 今後の都道府県における豚改良体制

### (1) 19年度の豚改良等事業の予算の確保状況(対前年比)

	(回答件数)	(割合)	【18年度】
100%以上	16	43%	9
90%台	14	38%	19
80%台	4	11%	4
70%台	1	3%	2
60%台	0	0%	5
60%未満	2	5%	0
回答総数	37	100%	39

### (2) 今後の豚改良等の事業規模(中長期的なプラン)

	(回答件数)	(割合)	【18年度】
現状維持	28	67%	28
拡大	0	0%	0
縮小	4	10%	7
中止(19年度以降)	3	7%	1
未定	7	17%	6
回答総数	42	100%	42

### (独)家畜改良センターへの要望(複数回答可)

	(回答件数)	(割合)
雄系の系統造成	11	26%
雌系の系統造成	9	21%
都道府県等が造成した系統の維持	5	12%
改良の素豚となる純粋種豚の供給	25	60%
肉質分析等の検査	22	52%
技術開発	20	48%
回答都道府県数	41	

### 【(独)家畜改良センターへの要望(自由記入例)】

- ・全国から優秀な個体を集め、能力評価後、生体・精液を配布してほしい。
- ・センターは、系統や商系の需要を確認しながら雄系の造成や改良素材の維持、肉質分析等の業務に特化することが望ましい。
- ・肉豚生産用のF1の供給
- ・豚肉の官能試験について、各県からの依頼を引受けてほしい。
- ・種豚の広域流通を図るため、疾病問題のある県で造成した系統の維持について、センターのSPF施設で引受けてほしい